

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市沖野デイサービスセンター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会事業協会
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 人（前年度比 ○○%）          令和元年度 4,263人（前年度比84.5%）          平成30年度 5,046人（前年度比95.4%）          平成29年度 5,290人（前年度比100.7%）</p> <p>《事業》          個別ケアの実施、機能回復訓練の実施、リスクマネジメント委員会（6回）、業務推進委員会（6回）、衛生管理委員会（6回）、お花見、お食事会、バラ観賞、農園畑作り、介護予防教室、七夕ドライブ、敬老会、ハロウィン仮装大会、クリスマス会、新年ゲーム大会、節分豆まき、防災訓練（2回）、誕生会（12回）、お話ボランティア（36回）、民謡教室（24回）、世代間交流会、ハーモニカ演奏交流会、落語・マジック鑑賞、沖野東小学校行事参加、排泄ケア勉強会、体験利用の実施</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 ※利用料金制を採用しているため、指定管理料の支出はない。（ ）は前年度決算額</p> <p>・ その他市が負担した費用 0千円 （135千円）</p> <p>《収入》</p> <p>・ 介護保険収入 35,316千円 （40,487千円）</p> <p>・ その他収入 75千円 （91千円）</p>
6	利用者の声	<p>《実施状況》          利用者アンケートを実施し、結果を公表及び検討の上実施した。また、意見箱を設置し、利用者の意見を反映した行事企画、事業所の課題改善に活用している。そのほか、連絡帳を作成し、利用者及び利用者家族の要望等を確認している。</p>

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>デイサービスセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。          また、利用者の健康相談や公平・公正な利用、要介護者の心身の特性に配慮した対応に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p>	30/30
II 施設の運営管理体制	<p>必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。          また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに、職員への周知等により意識啓発を行い、個人情報保護に対する体制を整えている。          事故や災害の発生に備えて、連絡体制や職員の役割分担を予め決めているなど、対応体制を構築している。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建築物の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。          また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。          また、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケートを年1回行うなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。さらに、広報誌の発行などを通じ、利用者等への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。</p>	28/28

V	施設固有の基準	<p>介護技術向上のための定期的な研修実施や、職員間での情報交換など、サービスの質を向上させる取組を行っている。</p> <p>また、関係機関と定期的な会議を開催することにより、日常的な連携体制を構築し、関係機関からの情報収集と利用者への情報提供に努めている。</p>	8/8
---	---------	--	-----

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会事業協会）による自己評価》	
<p>施設の目的や基本方針等を館内に掲示し、利用者に周知した。毎月開催する事業所会議等においても、重点目標等について職員間で共有した。</p> <p>運営管理面では、毎月税理士による監査を行う等適正な予算管理に努め、業務省力や経費節減等について職員間で周知して取り組んだ。個人情報保護に関する管理体制のもとセキュリティ対策を構築し、外部研修等の機会を通じて職員への啓発を行った。</p> <p>事故防止対策については、リスクマネジメント委員会を立ち上げ、事故報告書やひやりはっと報告書等を作成して職員間で共有し再発防止に取り組んだほか、年2回利用者も参加する防災訓練を実施した。</p> <p>環境対策では、仙台市環境行動計画に則った取り組みのほか、快適で安全な環境づくりを徹底し、設備の保守点検や清掃、環境整備に努めた。</p> <p>また、サービスの向上に向け、アンケート・連絡帳・担当ケアマネジャーからの情報等を集約し利用者のニーズを把握するとともに、日常のコミュニケーションからも課題等を抽出し、事業運営に反映できるよう取り組んできた。</p> <p>そのほか、ICT化(介護保険用記録ソフトとタブレットの導入)により、職員間での情報共有と記録業務の省力化につなげた。外部研修会にも積極的に参加し、伝達研修や復命書等で職員間で共有し、スキルアップに努めた。</p> <p>広報活動では、月1回発行する広報誌を町内会や近隣の商店・関係機関に配布したほか、法人ホームページにセンターのブログを掲載しPRに努めた。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>外部研修について全職員に参加を促すほか、交換研修の受け入れにより外部との接触機会を設けるなど、職員の資質向上にも積極的に取り組んでおり、事故対策としてリスクマネジメント委員会を開催し再発防止に努めるなどの取り組みを行っており、高く評価できる。</p> <p>利用者に対しても、帰宅時間のニーズへの対応や、必要と判断した場合は要支援利用者の規定回数以上の受け入れを行うなど、利用者本位のサービス提供に努めているほか、介護保険用記録ソフトやタブレットなどを導入し、職員間での利用者情報の共有やケア記録システムとの連動を行うなどICT化を進めており、サービスの向上に努めている。</p> <p>そのほか、併設の老人福祉センターの様々な行事への参加や、近隣の小学校や保育園行事へ積極的に参加し世代間交流に取り組むなど、関係機関や地域と連携した事業展開も実施しており、総合的に高く評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保健高齢部高齢企画課